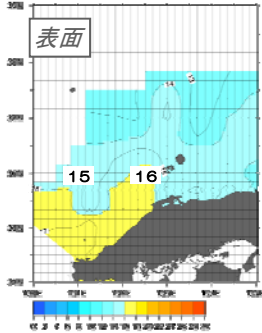
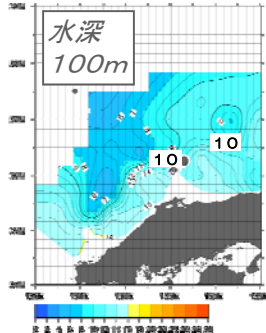


発行 鳥取県水産試験場 (電話:0859-45-4500)

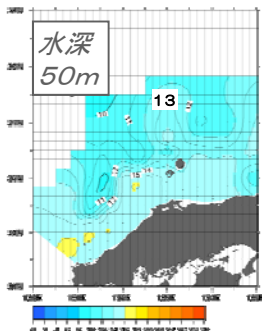
試験船による海洋観測結果 (5月上旬)



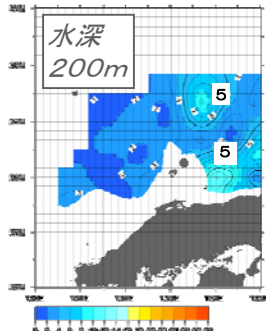
鳥取県沖と隠岐周辺海域は15°C前後で先月より2°C上昇し、平年並みの値となっています。



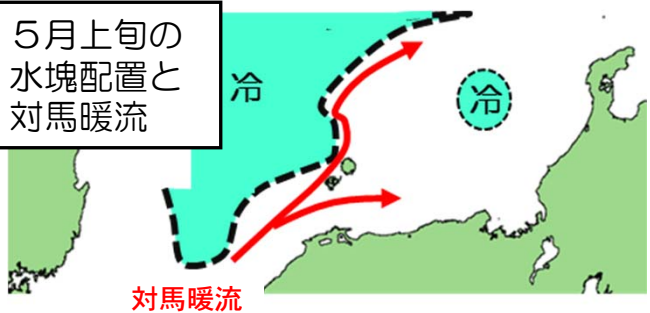
隠岐周辺海域は10°C前後で、先月とほぼ同値、鳥取県沿岸域では15°C前後で先月より約1°C上昇しました。



鳥取県沖と隠岐周辺海域は14°C前後で先月より1°C上昇し、隠岐西方海域では平年より2°C低め、それ以外の海域ではほぼ平年並みとなっています。



鳥取県沖北緯35°40'付近と北緯37°20'付近に暖水塊が発達しています。



- 島根沖冷水の沿岸への張り出し：島根沖冷水は浜田沖では依然として沿岸域に張り出していますが、隠岐北東海域では勢力が弱まっています。
- 沖合の対馬暖流：対馬暖流は島根沖から隠岐海峡を通過する流れと隠岐北方海域から北へ向かう流れに分枝しています。

*フェリー「おき」による隠岐海峡の水温情報や県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ(<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=72009>)に詳しく掲載しています、ぜひご利用ください。

水産試験場

春イカ漁場調査を行いました！

○水産試験場では、漁業者の皆様方がスルメイカの漁場を知り、効率的な操業を行うことで、燃油の削減が可能となるよう、イカ釣り漁船及び試験船第一鳥取丸を用いて、春イカ(スルメイカ)の漁場調査を行いました。(4月23日～5月15日)

【釣獲試験結果】

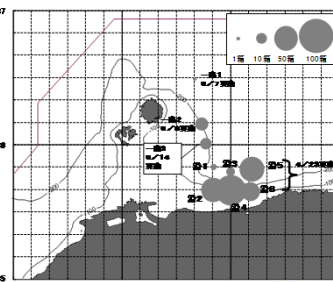
①沿岸 県東部沖合の水深100mラインに好漁場が形成されていました。

魚体サイズ：25～30入

②沖合 沿岸ほどの漁場形成はなし。

魚体サイズ：30入～バラ

調査点	調査日	漁獲量(箱数/日)						入合	計
		20本入り	25本入り	30本入り	40本入り	50本入り	60本入り		
泊1	4月23日		2	1					3
泊2	4月23日		38	7	3				48
泊3	4月23日		3	2	1				6
泊4	4月23日		48	25	1				74
泊5	4月23日		19	22	7		1		49
泊6	4月23日		17	10	2				29
一鳥1	5月7日			1					1
一鳥2	5月8日	1	3	4	2			5	15
一鳥3	5月14日		1	1	2			7	11
計		1	131	73	18	0	0	13	0 236
割合		0%	56%	31%	8%	0%	0%	0%	0%



○11月に秋イカについても漁場調査を行うこととしています。

○また、イカテレホン(境港のスルメイカ、長崎県、兵庫県、鳥取県のケンサキイカの漁況案内)もご利用ください。電話番号 0859-45-4505



★水産課からの情報★

★ 淀江で定置網が開始されました ★

5月16日より、淀江の沖合で新たに小型定置網の操業が始まりました。

初日からアジ、トビウオ等を中心に順調に水揚げされています。

定置網は漁獲される魚種が豊富で活魚いけす等を設置し出荷調整を行えるほか、操業に複数名の船員が必要となり雇用の創出につながるなど産地としての水産物供給体制を強化できる漁法として県内各地で導入が検討されています。



★ ととりにフェスタのお知らせ ★



八東川でアユ放流

5月10日(金)に八東川で千代川漁協が例年で行っている放流行事と連携し八東小学校の生徒の皆さんとアユの稚魚を放流しました。



日野川でアユ放流

5月20日(月)に日野川で日野川水系漁協が恒例で行っている放流行事と連携し根雨保育所の園児の皆さんとアユの稚魚を放流しました。



今後も県内各地でイベントがあるので皆さんきてね。

(ととりにフェスタ開催予定)

開催日	事業名
7月15日(海の日)	賢貢白いか祭
9月1日	網代港水産祭り(仮称)
(未定)	第2回のみやこ大漁・収穫感謝祭
(未定)	鳥取かにフェスタ

■ 今月の漁業許可証更新情報

- 中型まき網(もじゃこまき網(許可期限 H24.6.1～H25.5.31))
- 小型まき網(もじゃこまき網(許可期限 H22.6.1～H25.5.31))

■ 遊漁船登録業者の皆様へ...遊漁船登録に保険期間等の変更があった時は、変更申請をお忘れなく

平成25年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。



◎ 共和水産株式会社

代表取締役会長 相田 仁

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL 0859-44-7171 (代) FAX 0859-42-6530

アカモクビジネス、泊地区でも新たに開始！

鳥取県漁協泊支所では、漁港内で外海に比べて早期に成熟するアカモクの収穫を目的としたアカモクの拙作りにH24年5月から着手。H25年4月に初収穫が行われました。

その結果、H24年5月に設置した土嚢140袋から57kg、H24年12月に設置した養殖試験ロー730mから49kg、それぞれ成熟個体が収穫されました。

収穫物の一部は、一次加工まで行われ、加工業者へ初出荷されました。加工業者の評価は良好で、収穫は5月中旬まで行われる予定です。

一次加工技術も日々向上しており、アカモクビジネスを通じて作業場は活気づいています。

泊支所では、今後のビジネス拡大を目指し、来年度の増産に向けた体制づくりを検討されています。



養殖試験アカモクの収穫



アカモクの一次加工



土嚢袋に増殖したアカモク

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136

電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424

境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330